

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
1	S-07 A-07	建物①～③通り間スパン長について、 構造図では①～②1,900、②～③7,000、①～③計8,900ですが、 意匠図では①～②1,700、②～③7,700、①～③計9,400です。 意匠図が正で、①～②1,700、②～③7,700、①～③計9,400と考えてよろしいですか。	1	宜しいです。【S-07～16参照】
2	S-00-1 S-01	試験掘削について、 S-00-1図では行うのですが、S-01図では無です。先行根切の根切床の状態確認を行うものと考えてよろしいですか。	2	宜しいです。【S-01参照】
3	S-01	載荷試験について、 無の指示ですが、地盤改良工事において長期許容支持力度300kN/m ² 確認1か所必要と考えてよろしいですか。	3	宜しいです。
4	S-01 S-05	地盤改良について、 明記ありませんが、柱状地盤改良テコラム工法同等と考えてよろしいですか。	4	宜しいです。【S-04図参照】
5	S-01 S-05	地盤改良固化材について、 明記ありませんが、六価クロム溶出試験が必要と考えてよろしいですか。	5	宜しいです。【S-04図参照】
6	特A-02	土工事の埋戻し及び盛土について、 B種の指示ですが、仮置き場所をご指示下さい。	6	工事区域内とします。
7	S-00-1 S-01	鉄筋圧接継手の試験について、 S-00-1図では超音波探傷試験ですが、S-01図では引張試験です。両方採用と考えてよろしいですか。	7	S-00-1超音波探傷試験のみ採用とします。
8	S-03 S-13 S-18	基礎梁増打補強筋について、 基礎梁リストで4-D22、配筋標準図で主筋の一段落し径(D16以上)、架構配筋詳細図で3-D25(主筋の一段落し径)です。配筋標準図より主筋の一段落し径(D16以上)と考えてよろしいですか。 又、D19以上の継手は圧接と考えてよろしいですか。	8	3-D25を正とします。 継手は圧接とします。
9	S-14	柱帯筋S13について、 柱リスト1階C2の帯筋がS13@100ですが、S13は高強度せん断補強筋KSS785規格品同等と考えてよろしいですか。	9	宜しいです。【S-00-1図参照】
10	S-14	柱帯筋S13の加工方法について、 柱リスト1階C2の帯筋がS13@100ですが、中子筋共にH型(たが型)と考えてよろしいですか。	10	柱帯筋は、D13、S13、全て溶接型とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
11	S-14	柱帯筋S13の仕口フープについて、 柱リスト1階C2の帯筋がS13@100ですが、仕口フープはD13@100と考えてよろしいですか。	11	宜しいです。
12	S-15	梁スタラップS13について、 大梁リストG5.G6でS13ですが、S13は高強度せん断補強筋KSS785規格品同等と考えてよろしいですか。	12	宜しいです。
13	S-16	小梁リストB2について、 断面寸法400x800と200x700のB2がありますが、200x700のB2はB4と読み替えると考えてよろしいですか。	13	宜しいです。
14	S-06 A-06	ピット床天端レベルについて、 構造基礎・ピット伏図でFS1天端が1FL-1560の指示ですが、FS2も含めて、意匠ピット平面図及び矩計図の様に水勾配のあるレベルと考えてよろしいですか。	14	宜しいです。
15	S-06 S-13 A-06 A-13	ピット部⑤-⑥通り間基礎梁FB1について、 リストで底に捨コン砕石地業図示、構造基礎・ピット伏図でFS1・FS2を区切るようにありますが、意匠ピット平面図及び矩計図のでは人通路もなく梁下を抜かれる小梁の図示です。梁成からも梁下の空いた梁と考えてよろしいですか。 又、その場合、底盤FS2はFS1と読み替えてよろしいですか。	15	宜しいです。
16	S-06 S-13 A-06 A-13	ピット部②-③通り間基礎梁FB3について、 梁成が1200ですが、底盤FS2下まで梁下増打と考えてよろしいですか。	16	宜しいです。
17	S-06 A-06	ピット埋戻し範囲について、 埋戻し範囲が、構造基礎・ピット伏図では⑥通り右ですが、意匠ピット平面図ではA通り/①～③間です。意匠ピット平面図が正と考えてよろしいですか。	17	宜しいです。
18	S-06 A-06	前記質疑ピット埋戻し範囲が意匠図正の場合のピット床について、 下記と考えてよろしいですか。 1)⑥通り右ピット床:FS2 2)A通り/①～③間埋戻部:FS2は不要	18	宜しいです。
19	S-08 S-09 A-17 A-18	2・3階3・6通り底端部袖壁について、 構造伏図でW15ですが、意匠平面詳細図では巾400程度ある様です。意匠平面詳細図が正で、巾400、配筋タテヨコ筋共D13@200ダブルと考えてよろしいですか。	19	W35 配筋タテヨコ筋共D13@200ダブルとしてください。
20	A-09 A-32	西側曲面外壁の化粧リブについて、 リブ頂部縦補強筋1-D13、横筋D10@200程度の補強筋が必要と考えてよろしいですか。	20	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
21	S-11 A-13	①②通り西側曲面外壁の高さについて、構造軸組図では柱・梁天端が3FL+3900までですが、意匠矩計図では梁天端上に3FL+5200までH1300梁巾厚の壁があります。W450の壁(タテヨコ筋D13@100ダブル)があるものと考えてよろしいですか。	21	H1300、壁はW45、t=450(タテヨコ筋D13@100ダブル)とします。
22	A-09 A-28	壁の増打補強について、南北外壁を70mm増打するようですが、D10@200シングルクロス程度が必要と考えてよろしいですか。	22	不要です。
23	A-28 A-32	南北外壁レリフについて、W800xH2195xD50壁を欠き込むようですが、西側曲面外壁の化粧レリフと同じ特注化粧型枠(スチロール材)を打ち込むものと考えてよろしいですか。	23	在来で通常のスチロール材による細工とします。
24	S-03 S-09	R階床梁伏図の隅部補強筋について、③⑥通りに範囲図示が4か所ありますが、補強要領はS-03配筋標準図の屋根スラブ補強3-D13 L1500と考えてよろしいですか。	24	宜しいです。
25	S-08 A-13	6通り右渡り廊下について、意匠図では壁・屋根床・屋根梁がRCのようですが、構造図にありません。構造図をご指示下さい。	25	S-07～09図に示しています。
26	S-07 A-13	6通り右渡り廊下基礎梁FCG1下の壁について、意匠図で基礎梁下に壁がありますが、W17と考えてよろしいですか。	26	宜しいです。
27	S-08 A-13	6通り右渡り廊下と既存棟取合について、スタイロフォームt50で絶縁すると考えてよろしいですか。	27	スタイロフォームt20で絶縁とします。
28	S-07 A-11	A通りスロープについて、意匠矩計図-1でスロープ外構工事とありますが、構造詳細図がありません。構造図をご指示下さい。	28	【A-42図参照】
29	A-11	A通りスロープの建物取合について、スロープ東壁と建物基礎梁間はスタイロフォームt10で絶縁すると考えてよろしいですか。	29	絶縁は不要、差し筋で固定とします。
30	S-07 A-12	A通り/②-③間の玄関階段について、意匠矩計図-2で階段外構工事とありますが、構造詳細図がありません。構造図をご指示下さい。	30	A-42図に示しています。

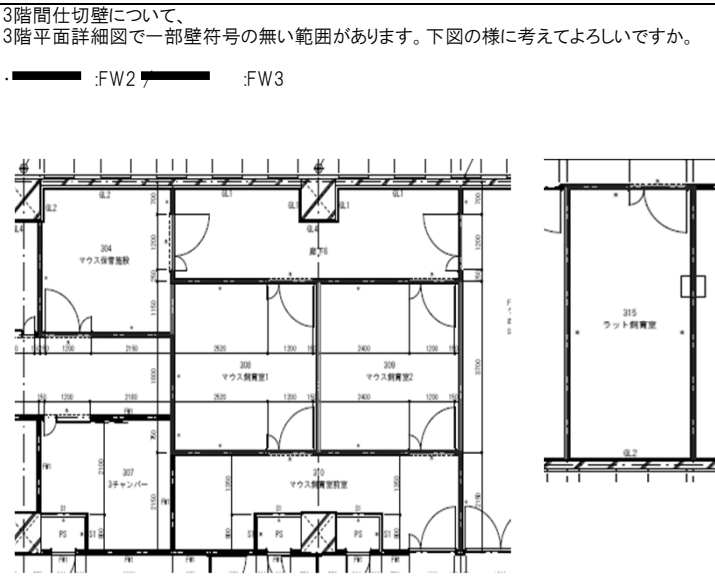
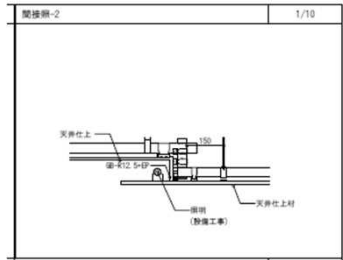
No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
31	S-07 A-16	6通り及びC通りの小階段について、 意匠1階平面詳細図で渡り廊下及び電気機械室への階段がありますが、構造図がありません。 構造詳細図をご指示下さい。	31	A-42図に示しています。
32	S-07 A-12 A-16	玄関階段及び6通り・C通りの小階段について、 下記と考えてよろしいですか。 1)地業:捨コン50+砕石60 2)コンクリート仕様:Fc24(Fq30)N/mm2 スランプ18cm 3)本体への鉄筋定着:配筋同径同ピッチのケミカルアンカー	32	1)2)宜しいです。 3)本体から差し筋を出し、それと重ね継ぎ手で接合してください。
33	S-07 A-12	C通り外/②-③間の床について、 1階床梁伏図で床と思われる図示がありますが、意匠図では無い様です。不要と考えてよろしい ですか。 否の場合は、構造詳細図をご指示下さい。	33	宜しいです。
34	S-17 A-14	屋外階段2の踊り場について、 断面詳細がありませんが、下記と考えてよろしいですか。 1)厚み:t170 2)配筋:短辺上D16@100、下D13@100、長辺D10@200ダブル	34	CS2となります。【S-10参照】
35	A-16	屋内設備基礎について、 電気機械室に設備基礎1.2.3.4がありますが、配筋はD10@200クロス、端部補強1-D13程度と 考えてよろしいですか。	35	宜しいです。
36	A-08 A-11	PH階機械設備基礎F3.F4.F5について、 ケタ基礎で、配筋は上下主筋D19@150、STP筋D10@200程度と考えてよろしいですか。	36	いいえ。A-28図の機械設備基礎詳細図を参照してください。
37	A-08 A-11	PH階機械設備基礎F6について、 柱型基礎で、配筋は主筋8-D19、HOOP筋D10@100程度と考えてよろしいですか。	37	宜しいです。
38	A-03 A-08 A-11	設備架台について、 外部仕上表屋根でH-150x75x5x7x8指示ですが、下記と考えてよろしいですか。 1)H-150x75x5x7x8はH-150x75x5x7に読み替える。 2)配置:屋根1のF3.F4.F5上図示部 3)太陽光パネル基礎F6上部は不要 4)アンカーボルト:2-M16 L320	38	宜しいです。
39	A-08 A-11	PH階配管立上りについて、 壁・屋根共に配筋D10@200ダブル程度と考えてよろしいですか。	39	宜しいです。
40	A-08 A-11	PH階庇2受のバラベットについて、 矩計図で厚みが300程度ありますが、配筋D13@200ダブル程度と考えてよろしいですか。	40	宜しいです。

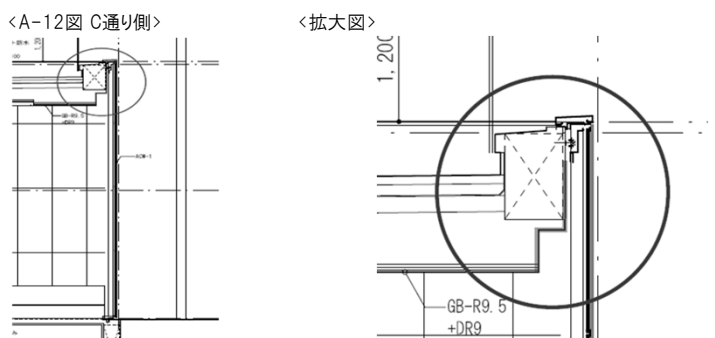
No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
41	S-03 特A-08 A-32	耐震スリット幅tについて、 特A-08図で25ですが、S-03図ではスリット長さの1/100以上とします。とあります。鉛直スリットはスリット長さの1/100以上(5mm刻み)、水平スリットは25と考えてよろしいですか。	41	宜しいです。
42	S-03 S-13	梁貫通孔補強要領について、 基礎、基礎梁リストにφ600の補強要領がありますが、特記無き限り、鉄筋標準配筋の在来補強と考えてよろしいですか。	42	宜しいです。
43	S-03	梁貫通孔補強の数量について、 貫通径別の数量若しくはキ-プランをご指示下さい。	43	A-06図に記載しています。
44	A-11	屋上押えコンクリートについて、 t80とし、ワイヤ-メッシュφ6-100x100と考えてよろしいですか。	44	宜しいです。【A-28図参照】
45	A-11	屋上押えコンクリート部、伸縮目地について、 成形伸縮目地W25と考えてよろしいですか。	45	宜しいです。
46	特A-02 A-03	屋上断熱アスファルト防水について、 ・特A-02図:AI-1 ・A-03図:AI-2 AI-2を正と考えてよろしいですか。	46	宜しいです。
47	A-11	屋上陸屋根について、 水下側に排水溝、防水モルタル金縷W250xH50 ワイヤ-メッシュφ3.2-50x50があるものと考えてよろしいですか。	47	宜しいです。
48	A-03	丸環について、 か所数をご指示下さい。	48	A-08図に示しています。
49	A-13	以下のEXP.JIについて、 メ-カ-品番-耐火時間をご指示下さい。 ・屋根水切 EXP.J ・外壁-外壁コナ- EXP.J	49	A-28図に示しています。 また、耐火1時間とします。
50	A-07 A-08	屋根-2・3Iについて、 ル-フトレンが1か所ですが、オ-パ-フロ-管:ステンレスφ50があるものと考えてよろしいですか。	50	宜しいです。

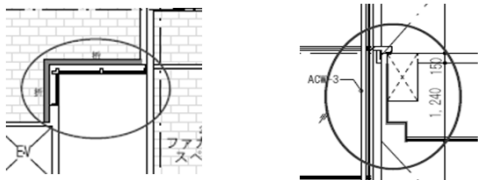
No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
51	A-07 A-13	屋根-3のルーフドレンについて、 A-07図では横型ですが、A-13図では縦型です。縦型と考えてよろしいですか。	51	宜しいです。
52	特A-04 A-08	横型ルーフドレンについて、 特A-04図で屋根1～3で径80の記載がありますが、取付か所をご指示下さい。	52	屋根-3を径80とします。
53	特A-03	縦樋アルミハットレスについて、 φ89の取付範囲をご指示下さい。	53	屋根-3の縦樋とします。
54	A-13	建物内の内樋について、 配管用鋼管+防露巻と考えてよろしいですか。	54	宜しいです。
55	A-12	ルーフテラス2のオーバーフロ(φ65 縦樋に接続)について、 配管用鋼管+防露巻と考えてよろしいですか。	55	宜しいです。
56	A-12	ルーフドレンの防塵カバーについて、 仕様詳細をご指示下さい。	56	SUS製既製品とします。
57	A-09 A-12	ルーフテラス1・2のステンレス手摺について、 縦格子はFB-75x9 @150と考えてよろしいですか。。	57	支柱部分、及び笠木部分はFB-75x9 縦格子はFB-6X25@100とします。
58	A-12	1Fエントランス庇先端小口塞ぎについて、 スチールDPとありますが、スチール溶融亜鉛メッキ+DPと考えてよろしいですか。	58	宜しいです。
59	A-12	ACW-1・3頂部の笠木について、 アルミ曲加工と考えてよろしいですか。その場合、厚さ・表面仕上をご指示下さい。	59	宜しいです。 2.0mm以上とします。
60	A-12	ACW-1・3頂部の笠木について、 RC躯体との取合シーリングは変成シリコン系20x15+20x15と考えてよろしいですか。	60	25x15+25x15とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
61	-	以下の項目のメ-カ-品番をご指示下さい。 ・防水型複層塗材E ・外装薄塗材E ・階段1・EV外壁 可とう形外装薄塗材(カラー着色) ・エントランスポ-チ床 300角タイル ・クリア塗装 ・レリ-フ部クリア塗装 ・軒天井 木調化粧けい酸カルシウム板	61	・防水型複層塗材E:適宜見込むこと ・外装薄塗材E:適宜見込むこと ・階段1・EV外壁 可とう形外装薄塗材(カラー着色):【特A-05図参照】 ・エントランスポ-チ床 300角タイル:LIXILストーンエッジII 床用同等以上 ・クリア塗装:セラミクリートSi工法同等以上 ・レリ-フ部クリア塗装:セラミクリートSi工法同等以上 ・軒天井 木調化粧けい酸カルシウム板:DIC フネンW0同等以上
62	A-08	屋上基礎(F1~6)について、 F1・2はベタ基礎H150、F3~6はゲタ基礎(A-28図の機械設備基礎の詳細)と考えてよろしいですか。	62	宜しいです。
63	A-07	視覚障がい者用床材(誘導・注意喚起)について、 仕様詳細:メ-カ-品番をご指示下さい。	63	ナカ工業 ガイドステップ SCS14同等以上とします。
64	A-03 A-09	エントランスロ-プ、立上り壁について、 A-03図では人工木ウッドデッキですが、A-09図では化粧リブ(可とう形外装薄塗材E)です。可とう形外装薄塗材Eとし化粧リブは不要と考えてよろしいですか。必要な場合、化粧リブの詳細・寸法をご指示下さい。	64	複層塗材Eとします。化粧リブは不要です。
65	A-03 A-09	1Fスロ-プのSUS手摺について、 外部仕上表でFB-75x9とありますが、支柱・横棧の部材寸法をご指示下さい。	65	A-42図に示しています。
66	A-09	1F外部階段(3か所)の堅格子手摺について、 SUS焼付塗装H800、手摺:FB-75x9、堅格子:FB-75x9@100と考えてよろしいですか。	66	外部階段2及び3の手すり不要とします。【A-42図参照】
67	A-09	北面(5-6、C)通り及び東面(6、B-C)通りの外部階段について、 ・床:踏面蹴込:モルタル金鍍仕上 ・段鼻:ノスリップタイル 以上のように考えてよろしいですか。	67	・床:踏面蹴込:RC金鍍仕上 ・段鼻:ノスリップタイル となります。【A-42図参照】
68	A-12	エントランス軒天井及び下り壁、アルミスパンドレル張について、 仕様詳細:厚さ・メ-カ-品番をご指示下さい。	68	アルミニウム製 t=0.8mm 面幅200となります。【A-28図参照】
69	A-03 A-12	エントランス軒天井 木調化粧けい酸カルシウム板について、 t6とし、廻縁は塩ビと考えてよろしいですか。	69	宜しいです。【A-23図参照】
70	A-03	エントランス軒天井 木調化粧けい酸カルシウム板下地のLGSについて、 耐風仕様と考えてよろしいですか。	70	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
71	A-14	3F～屋上、外部階段について、 ノスリップは不要と考えてよろしいですか。	71	必要となります。
72	A-14	3F～屋上、外部階段について、 外壁側に塗膜防水(X-2)H100、ササラ平均H175があるものと考えてよろしいですか。	72	宜しいです。
73	A-13 A-14	3F～屋上、外部階段軒天井について、 A-13図では外装薄塗材Eですが、A-14図では防水型複層塗材Eです。外装薄塗材Eと考えて よろしいですか。	73	宜しいです。
74	A-14	3F～屋上、外部階段の手摺について、 A-14図で手摺笠木がFB-40x6とFB-40x12の記載がありますが、FB-40x6と考えてよろしいで すか。	74	FB-40x12とします。
75	A-14	3F～屋上、外部階段の手摺について、 SUS焼付塗装と考えてよろしいですか。	75	宜しいです。
76	A-28	庇天端、ハト避けワイヤ-支柱について、 詳細をご指示下さい。	76	既製品とします。
77	A-28	庇先端下端、水切目地(20x20)について、 △の記載ですが、シーリングをするのでしょうか。ご指示下さい。	77	シーリング不要とします。
78	A-13	ルーフェラス1、逆梁部の通水管φ65について、 塩ビと考えてよろしいですか。	78	SUS製逆張り用既製品とします。 実径60以上とします。
79	A-09	外壁亀裂誘発目地シーリングについて、 立面図で誘発目地の図示がありますが、図示以外の柱脇及び3mピッチで誘発目地があるものと 考えてよろしいですか。	79	宜しいです。
80	A-09 A-40	東面立面について、 打継目地シーリングの位置が北・西・南面はFLの位置ですが、東面はFL+800の位置にあり、また 東立面では外壁の位置が1FL±0より外壁ですが、外構図ではSGL+200及びSGL-100の位置 から外壁があります。修正の東立面図をご指示下さい。	80	A-09図に示しています。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
81	A-09	西面外壁(R付)について、 曲面と考えるとよろしいですか。	81	宜しいです。
82	A-13	ルーフトラス1、曲面外壁について、 A-13図で外壁下地材90x45@303とありますが、ステンス軽量鉄骨t90と考えるとよろしいですか。	82	宜しいです。
83	A-23	2・3F A・C通り庇軒天井について、 A-23図で目地の記載がありますが、亀裂誘発目地シリングがあるものと考えてよろしいですか。	83	宜しいです。
84	-	壁ビニルクロス張について、 下地PB面にシラ-処理が必要と考えるとよろしいですか。	84	公共建築工事標準仕様書の通り、必要とします。
85	A-18	3階間仕切壁について、 3階平面詳細図で一部壁符号の無い範囲があります。下図の様に考えるとよろしいですか。 	85	図渡し図のA-18図に示している通りです。
86	A-32	天井間接照明について、 A-32図で間接照明-2の詳細が2つありますが、下図を間接照明-3に読替えると考えてよろしいですか。 	86	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
87	A-29	AW額縁について、 A-29図でSt製アルミサッシ枠 80x25とありますが、SOP塗装と考えるとよろしいですか。	87	宜しいです。 なお、アルミサッシ枠は80mmではなく85mmです。
88	-	ACW-1・-2・-3について、 膳板・額縁・上枠(ブラインドボックス)の仕様・納まりが不明です。断面詳細をご指示下さい。	88	ブラインドボックスは不要天井折上げとします。 膳板はアルミ製t=2.0mm曲げ、H=100とします。
89	特A-05	天井下地軽量鉄骨について、 耐震補強は必要でしょうか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	89	本工事の天井は特定天井にあたらないため、耐震補強は不要とします。 【その他は公共建築工事標準仕様書による】
90	A-11 A-12 A-13	外壁断熱について、 A-11～13図でスラブ下折返しの記載がありませんが、W600の折返し(硬質ウレタン吹付t25)が必要と考えるとよろしいですか。	90	不要とします。
91	A-12 A-23	1Fホールの天井について、 C通り側ACW-1取合い(下図赤丸内(青線・赤線)の納まりが不明瞭です。詳細をご指示下さい。 	91	赤線部分は折上げ天井とし 青線部分は躯体にEP塗装仕上げとします。 躯体とボードは面いち突きつけ、目透かし納めとします。
92	A-13 A-16	1Fホールの壁について、 1通り側(曲面壁)の下地石膏ボードが、A-13図ではt12.5とありますが、A-16図ではt9.5です。 t12.5を正と考えるとよろしいですか。	92	宜しいです。
93	A-12 A-13 A-16	1Fホールのベンチ(造作家具)について、 仕様が不明です。断面詳細をご指示下さい。	93	A-29図に示しています。
94	A-03 A-29	1F風除室の受付カウンターについて、 A-29図でなら集成材とありますが、塗装の仕様をご指示下さい。	94	ウレタンクリア塗装とします。

No	図面番号	質疑事項	No	回答
95	A-03 A-13 A-16	1F電気機械室(104)の浮床について、 A-13図で防振ゴム支持浮床とありますが、防振ゴムのメーカー・商品名・品番をご指示下さい。	95	MAFF工法とします。【A-13図参照】
96	A-15 A-23	1Fロッカ-(106)の天井について、 A-23図で岩綿吸音板(CH2400)の範囲がありますが、一部(踊場下等)CH2400に満たない範囲があります。同範囲はRC面打放補修の上EP仕上と考えるとよろしいですか。	96	宜しいです。
97	特A-09 A-31	1F湯沸室(108)の流し台について、 特A-09図(流し台ユニット)で流し台H850/吊戸棚H700に適用(○)の記載がありますが、A-31図では流し台H800/吊戸棚H800です。流し台H850/吊戸棚H700を正と考えるとよろしいですか。	97	A-31図を正とします。
98	A-03 A-23	1F倉庫3(116)の天井について、 A-03図:EP-G A-23図:EP EP-Gを正と考えるとよろしいですか。	98	宜しいです。
99	A-04 A-17	2Fバスルーム(215)について、 仕上表に記載がありません。3Fバスルーム1・2の仕上げに倣うと考えるとよろしいですか。	99	宜しいです。
100	A-04 A-12	2Fホールの床について、 A-04図:FT(木) A-12図:FS FT(木)を正と考えるとよろしいですか。	100	宜しいです。
101	A-12 A-23	2Fホールの天井について、 A-23図で折上天井(下図A)とありますが、ACW-3上枠(下図B)との納まりが不明瞭です。断面詳細をご指示下さい。 <A(A-23図)> <B(A-12図)> 	101	質疑91番と同様 梁部分以外は折り上げ天井とし 梁部分は躯体にEP塗装仕上げとします。 躯体とボードは面いち突きつけ、目透かし納めとします。
102	A-12	2Fホールの落下防止手摺について、 A-12図でSUS製落下防止手摺とありますが、部材寸法及び姿図が不明です。詳細をご指示下さい。	102	A-30図に示しています。
103	A-03 A-04	3F 洗浄室の床について、 A-03図(略号記号欄)でFS(洗)(洗浄室仕様、フラット防滑性、抗菌性、耐熱性)とありますが、A-04図(床仕上欄)でFS(耐薬)とあります。 洗浄室の床仕上はFS(洗)と考えるとよろしいですか。	103	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
104	A-03 A-04	前項質疑正(3F 洗浄室の床がFS(洗))の場合、FS(洗)のメ-カ- 商品名・品番をご指示下さい。	104	ロンシール ロンレイドASコンフォート同等以上とします。
105	A-04	3F M-W脱衣室の上り框について、A-04図(備考欄)でSUS製上り框 H187xW35とありますが、t1.6曲げ加工 HL仕上げと考えてよろしいですか。	105	宜しいです。
106	A-04	3F M-W脱衣室の脱衣棚について、A-04図(備考欄)に脱衣棚とありますが、仕様詳細が不明です。断面詳細をご指示下さい。	106	A-30図に示しています。
107	A-24 A-27	3F M-W脱衣室について、A-24図でユニットシャワ-出入口部に三方枠(PF1)とありますが、下枠は不要でしょうか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	107	必要、4方枠とします。
108	A-15 A-23	階段1の最上階天井について、A-15図ではEPですが、A-23図ではDR9です。DR9を正と考えてよろしいですか。	108	宜しいです。
109	A-15	階段1の壁付手摺について、仕様・メ-カ- 品番をご指示下さい。	109	ナカ工業 O-34同等以上とします。
110	A-15	階段1の最上階床付手摺について、仕様・部材寸法をご指示下さい。	110	A-30図に示しています。
111	A-32	階段1の点字ブロックについて、A-32図にあるホルの点字ブロックと同仕様と考えてよろしいですか。	111	宜しいです。
112	A-04 A-14	階段2の天井について、A-04図(天井仕上欄)でGD-D9.5とEP-Gとありますが、A-14図ではEP-Gのみです。天井仕上はEP-Gのみと考え、下地ボードにGB-R9.5を見込むと考えてよろしいですか。	112	3階天井はGB-D 1、2階の段裏はEP-Gとします。
113	A-03 A-16	1・2F MWC(115・214)の壁について、階段側RC間仕切面の納まりが不明です。耐水PBt12.5(GL工法)の上、室内仕上材(FK-D6)と考えてよろしいですか。	113	躯体にEP-Gとします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
114	A-16 A-31	1・2F MWC(115・214)の汚垂タイルについて、 A-31図で汚垂タイル(900x600)とありますが、TOTO:ハイドロセラ・フロアPU(薄型)同等品と考えてよろしいですか。	114	宜しいです。
115	A-21 A-17	1,2F MWC 小便器手摺について、 A-17の2F平面詳細図には手摺が記載されていますが、 A-21図では「1階のみ」と記載されています。 A-21図を正と考えてよろしいですか。	115	2階も設置するものとします。
116	A-03 A-16	1・2F WWC(114・213)の化粧鏡について、 A-03図:6か所 A-16図:4か所 4か所を正と考えてよろしいですか。	116	宜しいです。
117	A-03 A-16	1・2F WWC(114・213)の姿見鏡について、 A-03図:W200xH800 A-16図:W300xH1500 W300xH1500を正と考えてよろしいですか。	117	宜しいです。
118	A-16	1F オルジェンダ・トイレ(111)について、 A-16図でライニングが点線記入ですが、設備工事と考えてよろしいですか。建築工事の場合は、断面詳細をご指示下さい。	118	設備工事とします。
119	A-16	1F オルジェンダ・トイレ(111)について、 衛生設備器具(鏡含む)は全て設備工事と考えてよろしいですか。建築工事の項目がある場合は、仕様をご指示下さい。	119	全て設備工事とします。
120	特A-08 A-32	トイレ・スについて、 特A-08図でメラミン樹脂化粧板とありますが、A-32図でMDF(+芯材:ベ ^ニ ・ハ ^ニ ・コア)とあります。メラミン樹脂化粧板を正と考えてよろしいですか。	120	宜しいです。
121	A-16 A-31	小便器隔て板について、 A-31図で小便器隔て板詳細図がありますが、A-16図で小便器脇の隔て壁には壁符号(S8)の記載があります。小便器隔て板は不要と考えてよろしいですか。	121	必要とします。
122	A-31	トイレの手摺について、 A-31図(大便器ライニング詳細図・小便器ライニング詳細図)でL型手摺/小便器用手摺がありますが、工事区分が不明です。建築工事と考えてよろしいですか。	122	宜しいです。
123	A-32	プロジェクトハンガ ^ニ 取付下地について、 吊下げパイプの径をご指示下さい。	123	φ50程度とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
124	特A-09	収納家具について、 特A-09図(項目欄)で収納家具に適用(○)の記載がありますが、図中に見当たりません。必要な場合は収納家具のか所数・仕様詳細をご指示下さい。	124	不要とします。
125	A-23 A-29	ブライドについて、 工事区分が不明です。建築工事と考えてよろしいですか。	125	宜しいです。
126	A-23 A-29	前項質疑正(ブライドが建築工事)の場合、 メーカー商品名をご指示下さい。	126	スラット幅25程度 メーカー標準品とします。
127	A-16	消火器について、 工事区分が不明です。建築工事と考えてよろしいですか。	127	ボックスは建築工事、消火器は施主支給とします。
128	A-16	前項質疑正(消火器が建築工事)の場合、 仕様をご指示下さい。	128	消火器は施主支給とします。
129	A-28	エキスパンションジョイント金物について、 A-28図のEXP.Jキープランで床(E-5)の記載がありますが、EXP.J詳細図に記載が無く詳細が不明です。断面詳細をご指示下さい。	129	スタイロフォームt20で躯体絶縁の上 T型床見切りジョイナーカブセとします。
130	特A-06	鍵箱について、 特A-06図で鍵箱が※有りとなりますが、市販品60組用と考えてよろしいですか。	130	宜しいです。
131	A-38	屋内LEDサイン(B1)について、 仕様詳細が不明です。姿図及び断面詳細ご指示下さい。	131	A-38図に示しています。
132	A-38	室名表示サイン(E1・E2)・ビトサイン(F1)について、 メラミン化粧板のW寸法をご指示下さい。	132	300mmとします。
133	A-37 A-38	ビトサイン(F1)について、 A-38図で5か所(オルジェンダ・トイレ/WWC/MWC/自動販売機/オルジェンダ・トイレ)に各1か所の記載ですが、A-37図で1階(オルジェンダ・トイレ)に1か所のみです。 1か所を正と考えてよろしいですか。	133	5か所を正とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
134	A-37 A-38	サインについて、 A-37図(1階キ-フン)でロッカ-(106)前にF3とありますが、A-38図に記載がありません。仕様詳細をご指示下さい。	134	F1のシートピクトサインのみを壁面貼り付けとします。
135	A-31 特A-09	1,2F MWC-WWC 洗面化粧台について、 A-31の洗面カウンター-詳細図ではTOTOマ-ブライトカウンター-ツインデ-ッキと思われる表記がありますが、 特A-09図では洗面カウンター-メラミン樹脂化粧板とあります。 A-31図を正と考えてよろしいでしょうか。	135	宜しいです。
136	A-31	1,2F MWCハ-ウダ-カウンター-について、 A-31図には人工大理石t12(洗面カウンター-色合せ)と表記されていますが、洗面カウンター-の仕上-が 前項の回答でメラミンとなる場合、ハ-ウダ-カウンター-も同様の仕上-と考えてよろしいでしょうか。	136	TOTOマ-ブライトカウンター-ツインデ-ッキに色合わせとします。
137	-	以下の項目について、 メ-カ- 商品名・品番をご指示下さい。 ・300角タイル ・塗床 ・防塵塗装 ・ビニル床シート(FS) ・ビニル床シート(FS(耐)) ・ビニル床シート(FS(防)) ・ビニル床シート(FS(大薬)) ・ビニル床タイル(FT(木)) ・ビニル床タイル(FT(藤)) ・置床 ・ビニルクロス(VC) ・ビニルクロス(VC(ス)) ・化粧けい酸カルシウム板(FK-D6) ・化粧けい酸カルシウム板(木調)(FK-DW6) ・メラミン化粧板 ・タオルフック(3F M-W脱衣室) ・流し台(1-2F 湯沸室)	137	・300角タイル:LIXILストーンエッジII 床用同等以上 ・塗床:ABC商会 ケミクリートEPクリア同等以上 ・防塵塗装:ABC商会 シリケートハードナーJP同等以上 ・ビニル床シート(FS):ロンシール ロンリウムオブセルCT同等以上 ・ビニル床シート(FS(耐)):ロンシール サニタリウム同等以上 ・ビニル床シート(FS(防)):ロンシール サニタリウム同等以上 ・ビニル床シート(FS(大薬)):ありません ・ビニル床タイル(FT(木)):東リ ・ビニル床タイル(FT(藤)):東リ ・置床: ・ビニルクロス(VC):一般品 適宜見込むこと ・ビニルクロス(VC(ス)):一般品 適宜見込むこと ・化粧けい酸カルシウム板(FK-D6):DIOソリッドカラー同等以上 ・化粧けい酸カルシウム板(木調)(FK-DW6):DIOフネンW0同等以上 ・メラミン化粧板:アイカ T J番台同等以上 ・タオルフック(3F M-W脱衣室):スガツネ477-90-010型同等以上 ・流し台(1-2F 湯沸室):造作による
138	A-25 A-29	AW-1~3-5-6 枠見込について、 A-25図建具表で100とありますが、A-29図アルミサッシ納まりでは70の図示です。100を正と考えてよろしいですか。	138	表の枠見込みは額縁の見込みとし程度表記とします。 アルミサッシ見込みは全て70とします。
139	特A-06 A-29	AWのガラス止め材について、 特A-06図でアルミ製建具は「グレイジング」チャンネルに適用印がありますが、A-29図風除室 自動ドア 断面詳細図ではシーリングの図示です。アルミ製建具のガラスはすべてシーリング材を見込むと考慮して よろしいですか。	139	シーリングとします。 ACWの梁型部分、シーリングの施工困難な範囲のガラスのみ ガスケット使用とします。
140	特A-05 A-25 A-29	AWの網戸について、 特A-05図で網戸に適用印がありますが、A-25図及びA-29図アルミサッシ納まりでは網戸の図 示がありません。以下のように見込むと考慮してよろしいですか。 ・AW-1-4:外部可動式網戸 ・AW-2-3:ブリツ網戸	140	宜しいです。
141	A-25	AW-1の欄間アルミパネルについて、 パネルの厚み・仕様をご指示下さい。	141	1.0mm以上とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
142	A-08 A-25	AW-5の窓部形式について、 A-25図でFIX4連窓とありますが、A-08図ではル-フェラス1からの出入口動線図示(▲)があります。FIX3連窓+片引窓を見込むと考えてよろしいですか。	142	FIX3連窓+片開窓とします。【A-25図参照】
143	A-25	AW-6の寸法について、 A-25図寸法でH2175とありますが、姿図ではH2975です。H2975を正と考えてよろしいですか。	143	宜しいです。
144	A-25	AW-5-6 ガラスについて、 A-25図でAW-5:Low-E5+A12+フロト4、AW-6:Low-E3+A12+フロト3とありますが、ガラスの最大寸法(Low-E5+A12+フロト4:2408x1748、Low-E3+A12+フロト3:2418x1758)を超えるガラスが使用されています。どちらもLow-E5+A12+フロト5に読み替えると考えてよろしいですか。	144	宜しいです。
145	特A-06 A-25	自動ドア凍結防止措置について、 特A-06図で凍結防止措置を行うとあり、A-25図共通事項 自動ドア開閉装置で凍結防止装置の適用は備考欄によるとありますが、建具表 備考欄に凍結防止措置の記載がある建具がありません。外部自動ドアAD-1に適用と考えるとよろしいですか。その場合、凍結防止措置の詳細をご指示ください。	145	凍結防止装置は不要とします。
146	A-24 A-25	AD-1・2 電気錠について、 A-25図でAD-1にカードキ-とあり、AD-2は電気錠適用なしですが、共通事項 自動開閉装置ではAD-2は日中センサーによる開閉、夜間は別途発注される電気設備工事で設置される操作機による遠隔操作と記載があります。AD-1が風除室外部側、AD-2が風除室ホール側の建具のため、下記のように考えてよろしいですか。 ・AD-1:電気錠(日中 センサーによる開閉・夜間 遠隔操作による開閉) ・AD-2:電気錠(カードキ-対応)	146	日中はAD-1,AD-2共に通常のセンサーによる開閉 夜間はAD-1(風除室外部側)のみ電気錠による施錠を行い カードキーにより開錠する方式とします。
147	A-25 A-29	AD-1 ガラスについて、 A-25図で複層ガラスとありますが、A-29図風除室 自動ドア断面詳細図では袖FIX:複層ガラス、自動ドア:単板ガラスの図示です。袖FIX・自動ドア共に複層ガラスを正と考えてよろしいですか。自動ドア部が単板ガラスとなる場合はガラスの種類・厚みをご指示下さい。	147	宜しいです。
148	A-25	上記質疑正の場合、 AD-1 ガラスについて、A-25図でLow-Eガラスt5+A12+強化ガラスt4とありますが、最大寸法2200x1200を超えるガラスが使用されています。Low-Eガラスt6+A12+強化ガラスt6に読み替えると考えるとよろしいですか。	148	宜しいです。
149	A-25 A-29	AD-2 ガラスについて、 A-25図で強化ガラスとありますが、A-29図風除室 自動ドア断面詳細図では袖FIX:複層ガラス、自動ドア:単板の図示です。袖FIX・自動ドア共に強化ガラスを正と考えてよろしいですか。	149	宜しいです。
150	A-25	上記質疑正の場合、 AD-2 ガラスについて、A-25図で強化ガラスt5とありますが、最大寸法2600x1800を超えるガラスが使用されています。強化ガラスt6に読み替えると考えるとよろしいですか。	150	宜しいです。
151	A-25 A-28 A-29	AGのガリ接続枠について、 A-25図共通事項でダクト接続のガリには四方枠(4-52-7)を付けるがありますが、A-28図dp1図、A-29図アルミサッシ納まりではガリとチャンパ-ボックス(破線図示)が直接接続する図示です。すべてのガリはダクト接続するものとし、四方枠は不要、チャンパ-ボックスは機械設備工事と考えてよろしいですか。	151	必要とします。ダクトと接続するための四方枠です。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
152	特A-05	AGの防鳥(虫)網について、 特A-05図で網戸等防虫網 ステンレス(SUS316)製とありますがガラリにSUS防虫網を見込むと 考えてよろしいですか。	152	宜しいです。
153	A-27	PF-1について、 A-27図で仕様の記載がありませんが、表面仕上等仕様詳細をご指示下さい。	153	塩ビ製化粧面アクリルコーティング 浴室入口用既製品とします。
154	A-26 A-27	SD-5~7・SW-1~6・LSD-18~22・SS-1の枠形状について、 A-26・27図建具表で部分詳細図参照】とありますが、部分詳細図がありません。詳細をご指示 ください。	154	以下の通りとします。 SD-5~7:S-2 L-1 とする SW-1~6:製造所仕様による LSD-18~22:S-4 SS-1:無し
155	A-03 A-25	外部SD 表面仕上について、 A-25図共通事項で特記以外はSOPとありますが、A-03図外部仕上表ではDP塗です。DPを正 と考えるとよろしいですか。その場合、DPの等級をご指示ください。	155	宜しいです。 3級とします。
156	A-09 A-26	SD-3aの寸法について、 A-26図でH2100とありますが、A-09図ではH2675程度の図示です。H2100を正と考えるとよろ しいですか。	156	宜しいです。
157	A-09 A-26	SD-3bの形式について、 A-26図で欄間はめ殺し付両開框ドアとありますが、A-09図では両開框ドアの図示です。欄間は め殺し付両開框ドアを正と考えるとよろしいですか。	157	宜しいです。
158	A-26	SD-4の建具形状について、 A-26図に姿図がありませんが、ガラスの記載がないため、親子開フラッシュドアと考えるとよろしいで すか。	158	宜しいです。
159	A-26	SD-4の枠形状について、 A-26図で枠形状の記載がありませんが、1階倉庫3はS2(内部)、1階電気機械室はS3(内部・ 簡易気密型)と考えるとよろしいですか。	159	宜しいです。
160	A-26	SD-10の形式について、 A-26図で親子開き扉とありますが、姿図では片開です。片開を正と考えるとよろしいですか。	160	宜しいです。
161	A-19 ~ A-21 A-26	SW-1~5の寸法について、 A-26図寸法でH1675とありますが、姿図ではH1075です。A-19~21図でH1700程度の図示 のため、すべてH1675を正と考えるとよろしいですか。	161	H1075を正とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
162	A-16 A-19 A-24 A-26	1階ホール-オーブンラボ間の建具について、 A-24図でSW-5とあり、A-26図でSW-5はW1760ですが、A-16図ではW1000、A-19図ホール 展開bではW1800xH2700程度の図示です。1階ホール-オーブンラボ間のSW-5はW1000xH2675 のFIX窓を見込むと考えるとよろしいですか。その場合、強化ガラスt5の最大寸法2600x1800を超 えるため、強化ガラスt6を見込むと考えるとよろしいですか。	162	SW-7によります。【A-26図参照】
163	A-26	SW-6の寸法について、 A-26図寸法でW1760とありますが、姿図ではW2000(130+890+90+890)です。W2000を正 と考えるとよろしいですか。	163	宜しいです。
164	A-23 A-26	SF-3-4の寸法について、 A-26図でSF-3:H2500、SF-4:H2800とありますが、A-23図で1・2階WWC/MWC・1階ロッカ-の SF-3-4設置箇所はCH2400です。H2400で見込むと考えるとよろしいですか。	164	宜しいです。
165	A-25 A-26	SD-SWの耐熱合わせガラスについて、 A-25図共通事項及びA-26図で特殊樹脂フィルムt0.6とありますが、特殊樹脂フィルム(中間膜) の仕様をご指示下さい。	165	透明とします。
166	A-24 A-27	以下のLSDについて、 A-24図建具キ-プランとA-27図建具表で建具数量が異なりますが、A-24図を正と考えるとよろし いですか。 建具符号 A-24図 A-27図 ・LSD-1 2 3 ・LSD-8 5 7	166	宜しいです。
167	A-27	LSD-5・14・16の仕様について、 A-27図姿図でアンダ-カットと記載がありますが、H20と考えるとよろしいですか。	167	宜しいです。
168	A-22 A-27	LSD-9(3階ラット飼育室・MRI室)の形式・H寸法について、 A-27図で親子開フラッシュドア・H2100とありますが、A-22図ラット飼育室a展開、MRI室展開aで は欄間FIX親子開扉ドア・H2675です。親子開フラッシュドア・H2100を正と考えるとよろしいです か。	168	宜しいです。
169	A-27	LSD-10のガラスについて、 A-27図姿図で親子開扉ドアですが、ガラス欄にガラスの記載がありません。その他のLSD扉ドアと 同様に強化ガラスt6と考えるとよろしいですか。	169	宜しいです。
170	A-27	LSD-14の明り窓について、 A-27図で型板ガラスとありますが、厚さの記載がありません。t4と考えるとよろしいですか。	170	宜しいです。
171	A-25 A-27 A-29	LSD-17の表面仕上について、 A-25図共通事項で特記以外はSOPとします。とあり、A-27図で仕様記載はありませんが、A- 29図仕様表より扉・枠とも指定色焼付塗装仕上と考えるとよろしいですか。	171	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
172	A-27	LSD-18~20の寸法について、A-27図寸法でW900とありますが、姿図ではW1200(片引W900+片開W300)です。W1200を正と考えてよろしいですか。	172	宜しいです。
173	特A-06 A-27	SSW-1の仕様について、A-27図で表面仕上・曲加工の仕様記載がありませんが、HL仕上・普通曲げと考えてよろしいですか。	173	宜しいです。
174	A-27	SSW-1 引違窓の形状について、A-27図姿図で堅框の図示がありませんが、合わせガラスのため、四方框(上下枠のみではない)と考えてよろしいですか。	174	宜しいです。
175	A-27	SSW-1 ガラスの仕様について、A-27図で合わせガラス:フロトガラスt3+特殊フィルムt0.8+フロトガラスt3とありますが、特殊フィルム(中間膜)の仕様をご指示下さい。	175	透明とします。
176	特A-07 A-27 A-30	カーテンウォールのガラス止め材について、特A-07図で構造ガasketに適用印があり、図示によるとありますが、A-27・30図で構造ガasketの図示がありません(A-27図でACW-1・3 最上段部分のガラス押えにガasket使用図示あり)。構造ガasketは適用なしとし、ACW-1・3 最上段部分の内部側ガラス押えにグレイジングガasketを使用するものと考えてよろしいですか。	176	宜しいです。
177	A-27 A-30	ACWの枠見込について、A-27図でACW-1~3:200とありますが、A-30図でACW-1は130(ハックマリオン170を合わせると300)です。ACW-1:130・ACW-2:3:200を正と考えてよろしいですか。	177	宜しいです。
178	A-27 A-30	ACW-1 寸法について、A-27図寸法でW5800xH8175とありますが、姿図ではW6600xH8250です。A-30図よりW6600xH8175を正と考えてよろしいですか。	178	宜しいです。
179	A-27 A-30	ACW-1の仕様について、A-30図でマリオンスチールFB-60x170と横ツナギ材の図示がありますが、表面仕上としてSOPを見込むと考えてよろしいですか。	179	宜しいです。
180	A-09 A-27	ACW-2の寸法について、A-27図でH10320とありますが、A-09図西立面図ではH11300程度の図示です。H10320を正と考えてよろしいですか。	180	宜しいです。
181	A-09 A-15 A-27	ACW-2について、A-09図西立面図で全面ガラスのような図示ですが、A-27図姿図では一部分のみガラスのような図示です。又、該当建具は階段1の外部建具ですが、A-15図断面図に建具の図示がなく、階段部分の納まりが不明です。建具全面にLow-E複層ガラスがあるものと考えてよろしいですか。ハックボド等が必要となる場合は該当範囲と仕様をご指示下さい。	181	ガラス記号の部分はLow-E複層ガラスとし その他の部分は単板FL5とし 背面は躯体とします。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
182	A-27	ACW-3の寸法について、 A-27図でH8573とありますが、姿図の分割寸法を合計するとH8595です。H8573を正と考えてよろしいですか。	182	H8595を正とします。
183	A-27	ACW-1・3の ガラスについて、 A-27図でLow-Eガラスt5+A12+強化ガラスt4とありますが、最大寸法2200x1200を超えるガラスが使用されています。最大寸法を超過している部分については、Low-Eガラスt5+A12+強化ガラスt5に読み替えると考えてよろしいですか。	183	宜しいです。
184	A-25 ~ A-27	飛散防止フィルムについて、 A-25図共通事項でガラスフィルムA・Bの記載がありますが、A-25~27図建具表でガラスフィルムA・Bと記載のある建具がありません。強化ガラス及び強化ガラスを使用した複層ガラスにガラスフィルムA(透明飛散防止フィルム)を見込むものとし、ガラスフィルムB(不透明飛散防止フィルム)は適用なしと考えてよろしいですか。	184	宜しいです。
185	A-25	上記質疑正の場合、 ガラスフィルムA(透明飛散防止フィルム)のメカ-品番をご指示下さい。	185	3M CLAR2S 同等以上とします。
186	-	外部建具の枠周囲シーリングについて、 ダブルシーリング(20x10+20x10)と考えてよろしいですか。	186	宜しいです。
187	特A-08 A-25 A-27	衝突防止表示について、 特A-08図で設置するに適用印があり、設置する場所:図示による、30φ・ステンレス製とありますが、A-25~27図建具表に図示がありません。以下の建具に@300程度で両面に見込むと考えるとよろしいですか。 ・AD-1・2 ・AW-5・6 ・ACW-1・3	187	A-38図に示しています。
188	特A-05 A-43	既存RI研究棟外部nAW・nSDの性能について、 新築部建具と同様に以下のように考えてよろしいですか。 ・アルミ製建具 耐風圧性S-5 気密性A-4 水密性W-4 ・スチール製建具 耐風圧性S-5	188	宜しいです。【A-44図参照】
189	A-43	既存RI研究棟外部nAWの表面処理について、 A-43図に記載がありませんが、B-2種(ステンカラー)と考えてよろしいですか。	189	宜しいです。
190	A-43	既存RI研究棟既存kAW-3について、 A-43図既存建具表 記号でkAW-1(2か所)、AW-3(防火設備)とありますが、既存1階平面図からkAW-3(1か所)のみとし、AW-3(既存残置、改修済)はないものと考えてよろしいですか。	190	本工事改修範囲は北及び西側外壁建具のみ 南側のAW-1は既存のままとする建具で 参考で図示しています。
191	特A-05 A-43	既存RI研究棟nAW-3の仕様について、 A-43図改修建具表で網戸の記載がありませんが、特A-05図から外部可動式網戸(ステンレス製)を見込むと考えるとよろしいですか。	191	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
192	A-43	既存RI研究棟nSD-1の表面仕上について、 新築部建具と同様に外部建具:DP塗・内部建具:SOPと考えてよろしいですか。	192	宜しいです。
193	A-43	既存RI研究棟nSD-1の扉形状について、 A-43図改修建具表でLow-E複層ガラスの仕様記載がありますが、姿図では両開フラッシュドアです。両開框ドアを正と考えてよろしいですか。	193	両開フラッシュドアとします。
194	A-43	上記質疑正の場合、 既存RI研究棟nSD-1のガラスについて、A-43図でLow-E複層ガラスの仕様記載がありますが、1階渡り廊下に面する建具は内部建具となるため、網入磨ガラスt6.8を見込むと考えるとよろしいですか。	194	ガラス不要、両開フラッシュドアとします。
195	A-43	既存RI研究棟新設外部建具の枠周囲シーリングについて、 以下のように考えてよろしいですか。 ・nAW(カバー工法):シングルシーリング20x10 ・nSD:ダブルシーリング20x10+20x10	195	宜しいです。
196	A-40 A-41	(車道用・歩道用)アスファルト舗装復旧のプライマー散布について、 図示有りませんが、既存路盤砕石面にはプライムコート(PK-3)を適宜見込むものと想定しましたがよろしいですか。	196	宜しいです。
197	A-40 A-41	(車道用)アスファルト舗装復旧について、 建物基礎や工作物の掘削・埋戻し範囲につきましては、図示されている表層のみの復旧ではなく、下記の新設舗装断面で見込むものと想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・舗装厚さ:t=350 ・表層アスコン:再生アスファルト混合物(13) t=50 プライムコート(PK-3) ・上層路盤:再生瀝青安定処理材 t=100	197	表層以下は既存利用とします。
198	A-40	南側駐車桟No.6~11のアスファルト舗装について、 既存植栽桟部3.75㎡以外は「既設As」と図示されていますが、 新設縁石及び新設フェンス基礎施工の掘削・埋戻し範囲につきましては、 路盤砕石を含めた、「車道用アスファルト舗装」の新設を見込みますかよろしいですか。	198	宜しいです。
199	A-40	南側駐車桟No.6~11の既存白線引きについて、 アスファルト舗装既存利用の為、該当範囲の既存白線消しを見込むものと想定しましたがよろしいですか。	199	宜しいです。 【A-39及び40図参照】
200	A-40 A-41	(歩道用)アスファルト舗装復旧について、 建物基礎や工作物の掘削・埋戻し範囲につきましては、図示されている表層のみの復旧ではなく、下記の新設舗装断面で見込むものと想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・舗装厚さ:t=150 ・表層アスコン:再生アスファルト混合物(13) t=50 プライムコート(PK-3) ・路盤砕石:再生瀝青安定処理材 t=100	200	表層以下は既存利用とします。
201	A-40 A-41	再生砕石敷t=100について、 断面仕様を下記の様に想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・砕石材:再生クラッシャーラン(RC-40) ・防草シート:不要	201	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
202	A-40	裸地の仕様について、 鋤取りによる現場発生土(既存路盤砕石材)の敷均し、レベル調整・整地と考えてよろしいですか。	202	宜しいです。
203	A-42	路面標示(白線引き)について、 「JIS K5665 3種1号トラフィックペイント(白) t1.0」の仕様で見込むものと想定しましたがよろしいですか。	203	宜しいです。
204	A-40	駐車桝の番号表示について、 不要と考えてよろしいですか。	204	宜しいです。
205	A-42	ウツデッキ詳細図について、 下記のように不明内容が御座います。 夫々の納まり・仕様・寸法・数量が解る、見積の出来る資料をご提示下さい。 <不明内容> ①ウツデッキ伏図に「B断面図」の位置が図示されていません。 ②デッキ東側端部L=6427の手摺り基礎位置が図示されていません。 ③手摺り基礎口180角のH寸法及び根入れ深さが不明です。 ④手摺り基礎口180角とウツデッキ束石口190角が同一位置の場合、	205	外周はL型基礎とし手すり支柱は1000間隔でL型基礎側面固定とします。【A-43図参照】
206	A-40 A-41	(側30)落蓋式U字側溝 1種300A 歩道用について、 外構詳細図-1に断面図が御座いますが、外構計画図には図示されていません。 (側30)は当計画には該当無しと考えてよろしいですか。	206	宜しいです。
207	A-40 A-41	歩道As舗装範囲内の(側25)落蓋式U字側溝について、 外構計画図に図示されていますが、外構詳細図にはその断面詳細が御座いません。 「(側30)歩道用」の仕様に倣い、「(側25)歩道用」を見積もるものと想定しましたがよろしいですか。	207	宜しいです。
208	A-40 A-41	U字溝(側18)について、 雨水桝D19の付近に(側18)と図示されていますが、その側溝を配置する施工範囲(凡例模様)が無く、詳細図も御座いません。 (側18)は誤記と考えてよろしいですか。 否(必要)の場合、具体的な施工範囲図と断面詳細図をご提示下さい。	208	宜しいです。
209	A-40	雨水排水管のレベルについて、 地盤レベルより管底レベルの方が高い数値になっています。 管底レベルが誤記と考えてよろしいですか。 その場合、改めまして管底レベルの数値をご指示下さい。 否(誤記でない)の場合は、その根拠(納まり)をご指示下さい。	209	管底レベルは全て一数値に読み替えることとします。
210	A-40	雨水排水管の管径について、 桝D17～桝D20までの排水管に管径が図示されていません。 該当範囲の雨水管は、VUφ150を適用するものと想定しましたがよろしいですか。	210	宜しいです。
211	A-40	(D12)雨水桝600角の桝深さについて、 図示有りません。 600mmと想定しましたがよろしいですか。	211	宜しいです。

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
212	A-40 A-41	ボックスカルバート改修の延長について、 下記のように相違しています。 改修対象の延長は、L=7.0mが正と考えてよろしいですか。 <相違内容> ・外構既存図:L=7.0m ・外構計画図:L=8.0m ・外構詳細図:L=7.0m	212	宜しいです。
213	A-41	ボックスカルバート改修の現場打ちコンクリート(Fc24N)について、 図示の無い仕様を、下記のように想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ①構造体強度補正(S値)を見込む ②スランプ値は18cm以下 ③天端はコンクリート面金鍍(素地仕上)とします。	213	宜しいです。
214	A-41	ボックスカルバート改修の「埋設型枠B型 L=1000」について、 材質・材厚・メカ品番をご指示ください。	214	JSフォーム B型 L=1000とします。
215	特A-10 A-11 A-39 A-40	緑地の植込み用土について、 特記仕様書23章におきまして、芝張り範囲は「B種H=200」と図示されていますが、現況土壌が アスファルト舗装撤去(表層t=50)後の路盤砕石となりますので、 下記仕様を適用するものと想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・基盤整備:C種 ※現況路盤砕石を植込み用土に入れ替える ・植込み用土:客土(黒土) ・有効土層:H≥200 ※擦り付け部法面の盛土(H≤1150)も客土で見込む。	215	宜しいです。
216	特A-10 A-40	緑地の「吹付けは種」について、 特記仕様書23章におきまして、「吹付け播種(洋芝類)」に適用の○印が付いていますが、外構 計画図には図示が御座いません。 吹付け播種(洋芝類)は、当計画には該当無しと考えてよろしいですか。 否の場合、見積の出来る資料をご提示下さい。	216	宜しいです。
217	特A-10 A-40	植栽の枯れ補償について、 当計画での植栽計画は「芝張り」のみとなりますが、芝張りにおきましても、引き渡しの日より1年 間の枯れ補償を見込むものと考えてよろしいですか。	217	宜しいです。
218	特A-10 A-40	植栽工事の下記項目について、 全て不要と考えてよろしいですか。 ①土壌改良材 ②土壌の硬度試験 ③土壌の透水性試験 ④土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ⑤土壌の電気伝導度(EC)試験	218	宜しいです。
219	A-40	既存樹木について、 剪定は不要と考えてよろしいですか。	219	宜しいです。 施工支障の場合は別途協議とします。
220	A-38	<H1>屋外サイン基礎について、 図示の無い仕様につきましては、下記のように想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・基礎コンクリート:Fc24N/mm2 SL18cm ※構造体強度補正(S値)を見込む ・根巻コンクリート: 同 上 ・根巻部配筋:D10@200 タテ・ヨコダブル ・砕石地業 :再生クラッシャーラン(RC-40) ※固化材を使用した地盤改良は不要とします。	220	宜しいです。 【A-38図参照】
221	A-42	下記仕様部材のメカ品番をご指示下さい。 ①人工木ウッドデッキ 145×30 ②メッシュフェンス H=1800	221	①人工木ウッドデッキ 145×30:文化シャッター テクモク同等以上 ②メッシュフェンス H=1800:JFE建材 擬宝珠ネオロータフェンス同等以上

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
222	現場説明 図①	工事範囲図がA-44図面と違います。現場説明図①を正として考えてよろしいですか。	222	宜しいです。
223	現場説明 書	工所用電力が敷地内建物より分岐と有りますが、動力200V 150A、電灯 100V 125A分岐可能でしょうか。	223	動力200V 100A、電灯100V 100Aまでなら分岐可能です。
224	A-39	施工範囲内で、工事車両等が通行するのに支障が有る立木は、移植及び枝の伐採又は再植栽は可能でしょうか。	224	可能です。
225			225	
226			226	
227			227	
228			228	
229			229	
230			230	
231			231	